

## 正組合員向けアンケート

- 実施期間：令和5年3月
- 実施方法：正組合員（認定農業者等）へ経済部職員が個別訪問し回答を得ました。
- 回収枚数：配布64枚、回収64枚（回収率100%）
- 評価方法：5段階評価（5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1:不満）

属性				生産作物								
認定農業者	地域担い手農家	直売所出荷者	その他	米	麦	大豆	トマト	いちご	園芸	肉用牛	酪農	その他*
21	20	22	1	42	4	11	10	3	6	3	0	20

（※玉ねぎ、菊芋 ほか）

年齢								性別			居住地		
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	その他	男性	女性	法人	多治見市	瑞浪市	土岐市	
2	5	7	6	15	28	1	46	6	12	10	48	6	

### 令和4年度 重点方針

JＡ自己改革の目指す姿「農業者の所得増大の実現」の実践を図るため、「JＡとうと中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」による重点施策を策定しました。

その取り組みは、水稻農家の販売量・販売価格を増やすことや資材価格を下げる取り組みを行います。また、訪問活動を強化し、組合員の「声」に基づく運営を徹底し、今まで取り組んできた自己改革の取り組み実績等を伝えるとともに、組合員の評価や、新たなニーズ等を把握し、取り組み施策や見直しを行います。

そして、その取り組みの結果として、農業者の所得増大の実現を図ります。

## I 農業者の所得増大の実現

### 1. 水稻農家の販売量を増やす取り組み

売上増加を目標とした多収性品種への転換推進

(1) 営農組合等担い手経営体を中心に多収性品種への転換推進を行います。

(2) 全農、岐阜県東濃農林事務所と協同して多収性品種の栽培暦の策定会議を行います。

(3) 農業者の多収性品種への作付転換を目的に情報発信を行います。

(4) Z-BFM（営農計画策定支援システム）を活用し農業所得の増大に繋がる提案を勧めます。

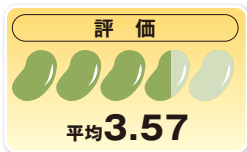
### 2. 水稻農家の販売価格を上げる取り組み

買取販売の販売数量の拡大

(1) 収量増加と品質向上のために食味・土壌診断を実施し、施肥提案を行います。

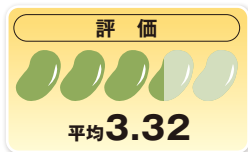
#### ■転換面積

計画	実績
11.8ha	12.9ha



#### ■会議回数

計画	実績
1回	1回



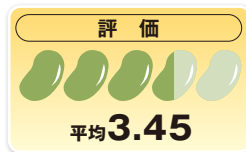
#### ■発信回数

計画	実績
3回	3回



#### ■推進回数

計画	実績
4回	4回



#### ■土壌診断件数

計画	実績
120件	125件



### 3. 水稻農家の資材価格を減らす取り組み

共同注文・早期納品の実施による価格低減

(2) 農業者からの直接買取を増加するために大口出荷者へ買取推進を行います。

(1) 農家からの共同注文、農家への早期納品を実施することで、価格の低減を図ります。

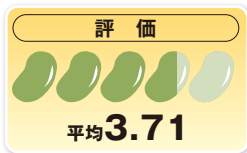
(2) 肥料予約注文の維持・拡大による資材価格を減らします。

(3) 当用で購入して頂いているお客様に予約での購入をお勧めします。

(4) 予約品を自己取りして頂くことで、配達手数料を削減し資材価格を減らします。

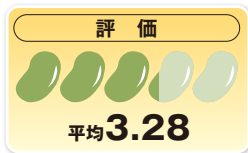
#### ■訪問回数

計画	実績
15件	19件



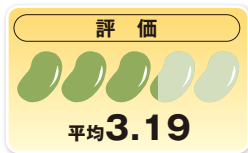
#### ■予約数量

計画	実績
7,650件	6,846件



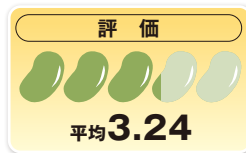
#### ■予約注文件数

計画	実績
1,040件	974件



#### ■予約推進件数

計画	実績
30件	20件



#### ■増加先数

計画	実績
25先	37先



### 4. 次世代担い手の育成支援の取り組み

(1) 生産者の現状把握と将来の見通しの意向把握アンケートを実施します。

(2) 行政の事業（人・農地プラン）と連携を図り、農業者の状況を共有するための情報交換、会議を実施します。

(1) 飲食店等に業務用米の産米の推進を図ります。

(2) 各イベントに参加して地場産米のPR活動を実施します。

(3) 地場産米を販売するためのキャンペーンを企画し取り組みます。

#### ■アンケート実施回数

計画	実績
1回	1回



#### ■会議実施数

計画	実績
3回	3回



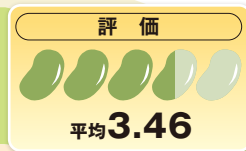
#### ■獲得件数

計画	実績
3件	3件



#### ■開催回数

計画	実績
3回	3回



#### ■取り組み件数

計画	実績
6件	3件



## II 「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

### 1. 地域の食と農をつなぐ地産地消の促進

# アンケート

令和4年度の当JAの取り組みについて、正組合員・准組合員の皆さまを対象にアンケートを実施させていただきましたので、結果をご報告させていただきます。

## 准組合員等向けアンケート

- 実施期間：令和5年2月
- 実施方法：准組合員先への当JA渉外担当者による個別訪問
- 回収枚数：配布416、回収416(回収率100%)
- 説明資料：広報誌vol.52(2023年1月号)、JAとうと満足度・期待度アンケート資料
- 評価方法：5段階評価(5:満足、期待する、4:やや満足・やや期待する、3:普通、2:やや不満・あまり期待しない、1:不満・期待しない)

性別		
男性	女性	無回答
168	243	5

居住地			
多治見市	瑞浪市	土岐市	無回答
148	88	165	15

年齢							
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答	
11	18	33	69	119	165	1	

取引 ※複数回答可						
貯金	融資	共済	年金	購買取引	その他	
407	52	317	169	32	2	

## I 自己改革の取り組みについて

### 食と農の大切さを伝える「JA食農教育活動」の実践

米づくり、さつまいも収穫体験、出前授業などを行い、未来を担う子供たちに農業の体験機会を提供しています。また、地元産農畜産物を学校給食に取り入れ、子供たちに食と農業の大切さを伝える取り組みをすすめています。

### 地域の食と農をつなぐ地産地消の取り組み

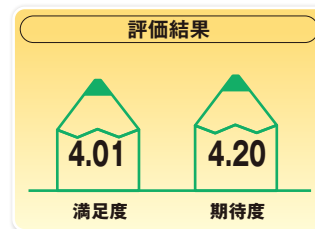
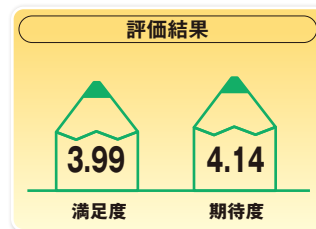
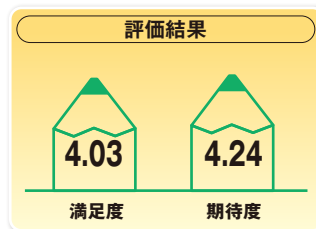
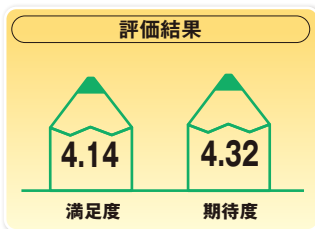
地場産米のPRや販売促進を行うなど、地域で生産されている農畜産物を地域の皆さまに消費していただく「地産地消」を促進して、地域の食と農をつなぐ取り組みを進めています。

### 広報活動を通じた情報発信

地元の農業情報や地域のイベント情報、JAの事業活動報告をホームページ・広報誌「JAとうと」にて発信しています。また、マスメディア(新聞・テレビ等)を活用して、食農教育活動にかかる情報発信を行っています。

### 支店協同活動による地域の活性化

組合員や地域住民にとって最も身近な支店を活動拠点として、地域イベント・各種ボランティア活動へ役職員が積極的に参加しています。



### 複数事業取引を通じた「くらし」の向上

高齢化社会に対応した介護支援(「JAとうと在宅介護サービスセンター」)等をはじめ、組合員・利用者の生活に必要な機能・サービスの提供の拡大を図り、JA事業(信用・共済・営農経済・営農指導・不動産など)の複数取引を通じて生活インフラ機能を発揮できるよう努めています。

### 各種無料相談機能の強化

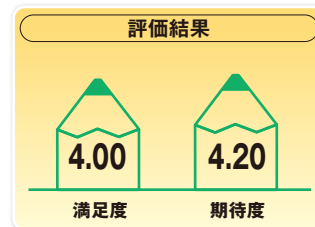
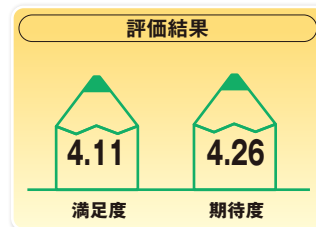
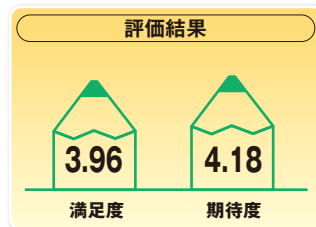
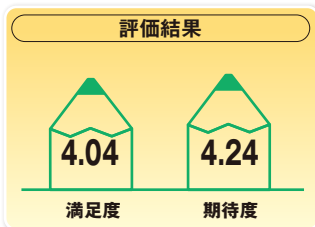
農業相談・資産運用・相続・法律・税務・年金等、各種無料相談会を開催し、組合員ならびに地域の皆さまのあらゆる相談に対応するための機能強化に努めています。

### 地域貢献への積極的な参加

地元3市(多治見市、瑞浪市、土岐市)への寄付や、公共福祉施設への新米寄贈、学生食堂・子ども食堂の支援など、地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員ならびに地域の皆さまが、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに取り組んでいます。

### 組合員との対話と地域農業振興の応援団の取り組み

組合員の声を聴く取り組み(対話運動)を進めるとともに、准組合員の皆さま方を「地域農業振興の応援団」と位置づけ、JAとうとの事業を利用していただくことや様々な活動に参加していただくことを進めています。



## II その他について

職員のお宅への訪問について、ご満足いただいていますか。

支店および経済店舗へご来店いただいた際の挨拶や対応等について、ご満足いただいていますか。

当JAの事業内容、活動内容、対応等について、ご満足いただいていますか。

年2回(1月、8月)発行しております「JAとうと広報誌」の掲載内容について、ご満足いただいていますか。

